

令和2年9月那珂川市議会定例会  
代表質問通告書

順番	会派	質問事項	質問の要旨（具体的に）
1	清流自民	(1) 快適で安全安心な生活環境の向上について	① 2級水系である「五ヶ山ダム」からの「事前放流」により豪雨災害を防ぐ取り組みの協議を急げ。 ② 国道385号山田交差点手前（消防署）付近から山田西停留所（セブンイレブン那珂川山田店）へ右折できるよう中央分離帯を設置しない協議を急げ。
		(2) 学校教育の充実とスポーツ・文化の振興について	① 学校・家庭において、この度導入のタブレットを活用し教育水準を向上させる仕組みを示せ。 ② コロナ禍における総合運動公園整備事業の進捗と今後の方向性を示せ。
		(3) 歴史ある市を未来へとつなげる取り組みについて	① 安徳台遺跡を本市のまちづくりに生かす取り組みについて市長の想い（夢）はあるか。
		(4) 生活基盤の豊かさの推進について	① 大型商業施設「イオン」の誘致が進捗しない状況で新たな方向性について地権者と協議すべきではないか。
		(5) 行財政改革の推進について	① 人口減少、少子高齢化、社会保障費の増加、加えてコロナ禍にある現状と今後の財政運営を示せ。

順番	会派	質問事項	質問の要旨（具体的に）
2	無所属の会	(1) 快適で安全安心な生活環境の向上について	① 自主防災組織への積極的な支援とあるが、那珂川市自主防災協議会への支援はあるのか。あるならばその内容は。
		(2) 道路整備について	① 観光振興について、周辺エリアの回遊性を高めていく取り組みとあるが周辺エリアとはどこまでか。
		(3) 学校教育の充実とスポーツ・文化の振興について	① 一人1台のタブレットが利用できる環境はいつからか。また、全児童生徒の使用はいつからか。 ② 子どもたちに快適でぬくもりある教育環境とあるが、具体的に何をやるのか。
		(4) 高齢者の生きがいと健康づくりの推進について	① シルバー人材センターの活動拠点施設の整備とあるが具体的な内容と予算額は。 ② 現在のコロナ禍における「地域包括ケアシステム」の構築についての考えは。
		(5) 歴史ある市を未来へとつなげる取り組みについて	① 安徳台遺跡保存活用計画を策定しとあるが、保存活用計画の策定は本年終了するのか。
		(6) 行財政改革の推進について	① 大型事業をはじめとする各種事業のスケジュールの見直しや既存事業の縮小・廃止の検討とあるが対象事業は。

順番	会派	質問事項	質問の要旨（具体的に）
3	日本共産党	(1) コロナ危機に対する対策について	① 中小業者支援について ② 介護事業所支援について ③ 市民のくらし応援について ④ 市内感染者の把握について ⑤ インフルエンザ予防接種の公費助成について
		(2) 災害対策について	① 自力避難困難者（高齢者、障がい者等）の個別計画の推進について ② 社会福祉施設（高齢者、障がい者等）の避難計画について
		(3) 気候変動非常事態について	① 「気候非常事態宣言」を求め、住民政策提案として提出されているが、気候変動非常事態にどのように向き合っていくのか。
		(4) 少人数学級について	① 必要性の認識と独自の取り組みについて
		(5) 高齢者施策について	① 介護保険制度における支援サービスの後退について
		(6) グリーンピアなかがわについて	① 指定管理者選定において、応募が無かった要因は何か。 ② 観光振興として五ヶ山周辺エリアの回遊性を高めるとされる一部であるグリーンピアなかがわの今後の在り方をどのように考えているか。
		(7) 資産管理について	① みどりの森公園の今後の取り扱いについて

順番	会派	質問事項	質問の要旨（具体的に）
4	社 民 ・ ネ ッ ト	(1) 快適で安全安心な生活環境の向上について	① 自主防災組織への積極的な支援を行うとあるが支援の具体的な内容は。
		(2) 学校教育の充実とスポーツ・文化の振興について	① ICTを活用した教育により子どもたちの更なる学力の向上と情報活用能力の向上に取り組むとあるが、教職員へのスキルアップはどのように考えているのか。
		(3) 南畑地域活性化の推進について	① 南畑地域活性化については、更なる情報発信と地元住民の皆さんの協力、理解が必要と思われるが今後の取り組みは。
		(4) 高齢者の生きがいと健康づくりの推進について	① シルバー人材センターの活動拠点施設の整備のための支援に取り組んでいくとあるが、具体的な支援内容は。
		(5) 歴史ある市を未来へとつなげる取り組みについて	① 歴史的遺産を後世へと継承していくため歴史的文化遺産や文化財及び発掘における出土品の適切な保管及び保管施設の整備が必要と思われるが具体的な計画はあるか。
		(6) 行財政改革の推進について	① 新型コロナウイルス感染症の影響で、大幅な税収減が見込まれる中、大型事業をはじめとする各種事業の縮小・廃止などを検討するとしているが、具体的にはどんな事業が対象となるのか。 ② コロナ禍における職員の働き方について、テレワークやAI、ICTの活用などの検討をすべきではないか。

順番	会派	質問事項	質問の要旨（具体的に）
5	公明党	(1) 快適で安全安心な生活環境の向上について	<p>① コロナ禍やコロナ後を通じ、各行政区や関係団体との会議等に、Z o o m等を使いオンラインで行える仕組みを整えるべきだと考えるが、見解は。</p> <p>② コロナ禍の避難所開設運営マニュアルや新型コロナウイルス感染症対策を策定されているが、現実の災害時には、予期せぬ事態が起これ、マニュアル通りにはいかないことも推測されるので、「コロナ禍における避難所開設訓練」の実施を提案したい。現在の状況では、Z o o m等を使いオンラインの避難所開設訓練を実施する方法もあるが、見解は。</p>
		(2) 学校教育の充実について	<p>① 本市では、新たに小中学校の全児童生徒に一人1台のタブレットが使用できる環境を整備し、ICTを活用した教育により子どもたちの更なる学力の向上と情報活用能力の向上に取り組んでいくとあるが、「情報活用能力」とは、どういう能力なのか。</p> <p>② 情報活用能力が向上することで何が実現されるのか。</p> <p>③ 本市独自の教育事業としてオンラインを活用した遠隔地の研究発表会等の参加や市内外の学校の児童生徒との意見交換、海外の学校と互いの地域や文化を紹介し合うなど、学びの可能性を伸ばす試みが必要だと考えるが、見解は。</p>
		(3) 介護・障がい者福祉・子育て・生活困窮の包括的支援について	<p>① 近年、「8050問題」や社会的孤立、「ダブルケア」、就職氷河期世代の問題、子どもの貧困など、制度・分野を超えた複合的な課題が浮かび上がっている。それに加え、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による深刻な課題も加わり重層的な支援が必要だ。これを踏まえ、先の国会では市区町村の相談支援体制を強化する社会福祉法などの一括改正法が成立した。これには、介護・障がい者福祉・子育て・生活困窮の相談支援に関する事業を一体として実施する「重層的支援体制整備事業」が明記されている。これには、市区町村の手挙げ方式で行われることになっているが、本市でも取り組むべき事業だと思うが、見解は。</p>

順番	会派	質問事項	質問の要旨（具体的に）
5	公明党	(4) 行財政改革の推進について	<p>① 国は、行政や教育、医療など社会全体でデジタル技術の活用を加速する計画である。行政のデジタル化は、事務の効率化と質の高い行政サービスが可能となるが、そのためにはマイナンバーカードの普及が不可欠となる。マイナンバーカードの普及促進を工夫し効果を出している自治体が増えている中で、那珂川市でも更なるマイナンバーカードを普及させる手立てを考えるべきだと思うが、見解は。</p>